

【春に・握手】熟語の読み方】 1回目

	A	B	C	D	E
①	うず(を巻く)	せんだく(物を干す)	おだやかな(天気)	ようけい(業を営む)	つめ(を伸ばす)
②	(荒地の)かいこん	(映画)かんとく	(古代)ていこく	どろ(を塗る)	こうまん(な態度)
③	(落とし物を)さがす	しょうだん(を言う)	せいめい(を記入する)	(故人の)いしゅうき	ゆいこん(を残す)
④	しんちよう(な態度)	こんい(にする)	(初志)かんてつ	てぎよ(作業)	にんしん(する)
⑤	えらく(に浸る)	ただ(な生活)	ぢゆうけい(時間)	こうそく(される)	そち(を誤る)
⑥	ひまきぎ(で立つ)	にわとり(を飼う)	くおん(な日々)	(怪しげな)しろもの	ひやくしよう(一揆)
⑦	(禮難者の)そうざく	ぶんかつ(して払う)	いご(の場)	つしんで(承る)	せんとん(する)
⑧	けものみちを(歩く)	はんぷ(する)	ながそで(のシャツ)	そとほり(を埋める)	まくらもと(の立つ)
⑨	ちやがま(の湯)	りようわき(に座る)	べつむね(に住む)	わくない(に収まる)	(マゼラン)かいぎよう
⑩	あいろ(に染める)	あさせ(を渡る)	にしきえ(の展覧会)	じゆんすい(なころ)	ひとみ(を閉じる)
⑪	(國王への)はらえつ	まゆだま(を飾る)	じようまえ(を外す)	(入院)かんじゃ	(順風)まんぱん
⑫	いし(をさまね)	おとめぎ(の生まれ)	かたなかじ	りゆうきん(ペリウム)	とくめい(希望)

【春に・握手（）熟語の読み方】

	A	B	C	D	E
①	うず(を巻く) 渦	せんだく(物を干す) 洗濯	おだやかな(天気) 穏やか	ようけい(業を営む) 養鶏	つめ(を伸ばす) 爪
②	(荒地の)かいこん 開墾	(映画)かんとく 監督	(古代)ていこく 帝国	どろ(を塗る) 泥	ごうまん(な態度) 傲慢
③	(落とし物を)さがす 探す	じょうだん(を言う) 冗談	せいめい(を記入する) 姓名	(故人の)いしゅうき 一周忌	ゆいこん(を残す) 遺言
④	しんちよう(な態度) 慎重	こんい(にする) 懇意	(初志)かんてつ 貫徹	てきよ(作業) 撤去	にんしん(する) 妊娠
⑤	えらく(に浸る) 悦楽	たいだ(な生活) 怠惰	ぢゆうけい(時間) 休憩	こうそく(される) 拘束	そち(を誤る) 措置
⑥	つまきぎ(で立つ) 爪先	にわとり(を飼う) 鶏	へいおん(な日々) 平穩	(怪しげな)しろもの 代物	ひやくしよう(一揆) 百姓
⑦	(遭難者の)そうさく 搜索	ぶんかつ(して払う) 分割	いご(の場) 憩い	つしんで(承る) 慎んで	ちんとん(する) 整頓
⑧	けものみち(を歩く) 獣道	はんぷ(する) 頒布	ながそで(のシャツ) 長袖	そとほり(を埋める) 外堀	まくらもと(の立つ) 枕元
⑨	ちやがま(の湯) 茶釜	りようわき(に座る) 両脇	べつむね(に住む) 別棟	わくない(に収まる) 粹内	(マゼラ)かいぎよう 海峡
⑩	あいろ(に染める) 藍色	あさせ(を渡る) 浅瀬	にしきえ(の展覧会) 錦絵	じゆんすい(なころ) 純粹	ひとみ(を閉じる) 瞳
⑪	(國王への)はいえつ 拝謁	まゆだま(を飾る) 繭玉	じようまえ(を外す) 錠前	(入院)かんじや 患者	(順風)まんぱん 満帆
⑫	いし(をこまむ) 碁石	おとめぎ(の生まれ) 乙女座	かたなかじ 刀鍛冶	りゅうきん(ペリウム) 硫酸	とくめい(希望) 匿名

